

保健体育科

保健体育科の目指す生徒像

- ・ 自己の体力を知り、運動の技能とともに不足している部分を補いながら、レベルアップを自ら進んで行うことができる生徒
- ・ 自己の健康安全について考え、実践することができる生徒

授業評価における課題

- ・ 技能を高め合うような助言や、作戦を話し合う場面が少ないことが課題である。
- ・ 積極的かつ前向きに授業に取り組めるような工夫が必要である。

言語活動における課題

- 集団的活動を通して、技術を高め合うために、互いにかかわり合い、教え合う態度を育成することが課題である。

＜本校で検討した言語活動例＞

集団的活動で互いに励まし合い、協力し合う活動や筋道を立てて作戦を考え、その結果を客観的に評価する活動

改善策 ①

生徒への個人記録（水泳・陸上など）の提示と全体の記録データの処理による比較を行う。



改善策 ②

グループ学習を増やし、仲間同士の話し合いを通して互いの技能を高め合う。



改善策 ③

生徒自身が練習の仕方を考えたり、工夫したりする授業を展開する。



～ 研究の成果 ～

- ・ 各学年とも、進んで前向きに授業に取り組もうとする姿勢が身に付いてきた。また、技能を高めるため、視聴覚教材や資料等を用いて工夫したことによって保健体育全般に対する意欲・関心が深まった。
- ・ 様々な種目においてグループ学習を取り入れた結果、生徒が主体的に授業に取り組んだり、課題を見付けたりしながら授業を行うようになってきた。